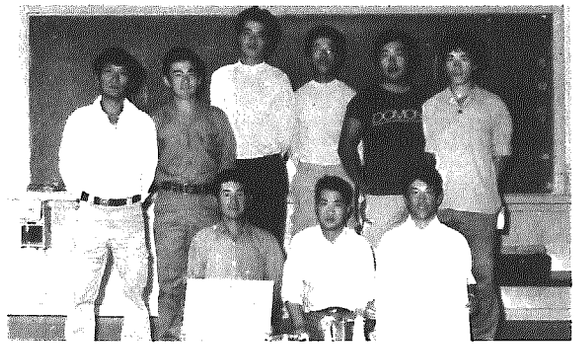
団体は原B、個人は宮島公一さん(原)が優勝

～うまい米づくり推進競作会～



(▲団体の部優勝の原Bのみなさん)

農産物の総合的な自給力の強化と米需給均衡化対策の一環事業として競作会（コシヒカリ）が去る9月18日行われ，今年は特に集団化の推進を図るうえで団体の部をもうけて実施しました。出品84点～多数の中から成績優秀者に村長より賞品賞金が贈られ盛会裡のうちに終りました。

○成績は次の通りです。

○団体の部

部落	氏名	記録kg	順位
原B	大岩　厳 宮島　秀一 宮島　公一 大岩　孝 木村　一浩	623.6	1
原A	大岩　稔 大岩太計雄 大岩　一義 大岩　富男 大岩　征雄	593.8	2
西中B	山田　善哉 山田　清 大平　征夫 山田　勝英 杉山　重光	590.4	3
西中A	竹内　巧 本間　秀基 山田　守 伊柳　司 山田喜一郎	585.8	4
高畑	小林　嘉夫 野水　作一 荒井　勇 野水　清兼 荒井　龍男	579.2	5
和納	鍔田　敏夫 会田　明 伊藤　進 相沢征支郎 早川喜三郎	575.4	6

個人出点数　84点
団体出点数　13点
平均収量　564kg

○個人の部

部落	氏名	記録kg	順位
原	宮島　公一	672	1
和2	鍔田　敏夫	660	2
原	大岩　征雄	628	3
潟上	藤田　正次	625	4
西中	山田　清	623	5
原	大岩　孝	621	6
西船越	小林　清司	619	7
原	大岩　厳	619	7
横曽根	菅井　晴一	617	9
西中	山田　勝英	617	9
高畑	荒井　勇	612	11
西中	山田　善哉	610	12
原	宮島　秀一	606	13
原	大岩太計雄	601	14
原	木村　一浩	600	15
西中	伊柳　司	597	16
和5	竹内沢一郎	596	17
西中	竹内　巧	595	18
高橋	大関　恒夫	594	19
西中	本間　秀基	594	19
横曽根	成田　秀一	594	19

冬まじか……。

暖房器具の取扱いは正しく

寒い季節はもうまじかです。

今月は、各暖房器具の点検や手入れを行い、冬の準備をしませんか。

今年から石油類を使用するストーブや、風呂釜などの設置基準が定められ、ストーブなどの点検や修理は有資格者が行わなければならないようになりました。

点検や修理に出す場合には、かならず業者にそのことを確認してください。

〈使用前の注意〉

○ガス器具等のホースの亀裂や破損はないか確かめる。

○対震自動消火が正常に作動するか。

〈つぎのことを守りましょう〉

▽洗たく物や燃えやすい物を暖房器具の上や、周囲におかないようにする。

▽就寝前には、ガスの元栓、湯わかし器、ふろの種火、こたつの火の点検など念入りにしよう。

▽暖房している部屋はもちろん、湯わかし器、ふろ釜などの設置箇所の換気に注意しましょう。

▽身体の不自由な人や老人、子どもなどは、できるだけ避難しやすい部屋で就寝させましょう。

危険物取扱者試験

一、試験期日　十一月十六日（日）

二、試験の種類
乙種危険物取扱者試験（全類）
丙種危険物取扱者試験

三、場所
新潟市
二葉中学校
新潟大学商業短期大学部
三条市
三条工業高等学校

申し込み　十八日迄　消防分署へ
詳しくは消防分署へ
TEL　二―三三六〇

産業育成資金貸付

昭和55年度第2回の産業育成資金申込みの受付を致します。商工業を営む皆さんご利用下さい。

申込み用紙は役場企業観光課に用意してあります。

1. **融資限度額**　300万円。但し審査により減額されることもあります。
2. **融資利率**　年8パーセント
3. **貸付期間**　(1)　6ケ月一括返済
   (2)　12ケ月均等返済
   (3)　24ケ月均等返済
4. **融資予定日**　昭和55年10月21日（火）
5. **申込期限**　昭和55年10月15日（水）
6. **申込場所**　岩室村役場企業観光課

※前回6ケ月借入れの方は10月18日（土曜日）が一括返済日ですのでお忘れのない様お願い致します。

村の話題

喜ばれていますす録音広報

藤田さんの善意で軌道に

▲自宅で録音する藤田さん

視覚障害者や、おとしよりのために「聞く広報」をお届けしようと始めた録音広報ですが、和納三区の藤田勢津子さんのボランテアに支えられて、すっかり軌道にのりました。

――録音は深夜に行い三十分のまとめで二～三時間かかりますが、聞いてくださった方から励しの声が寄せられると、やってよかったと思います。こんどは小説も手がけたいと思っているんですよ――とさりげなく話す藤田さんです。

おとしよりのみなさんグループで利用されてみませんか、役場総務課広報係（二―四一一一）へどうぞ。

青年バスケットチームが全国大会に

▲全国大会に出場するバスケットチーム

村の青年たちで組織しているバスケットチームが、先ほど行われた新潟県青年大会で活躍、みごと県代表として、来月六日～九日まで東京の東京都国立競技場で行れる全国大会に出場することになりました。

この快挙に村としても、ぜひ一勝をと側面から支援する一方、選手たちもこれに応えて毎夜練習に磨きをかけています。

――来春には体育館も完成するし、どんどんあとにつづいてほしいですね――と公民館長さんも大喜びです。

ガンバレ、青年バスケットチーム。

自転車を安全に乗るために

間小で交通安全教室

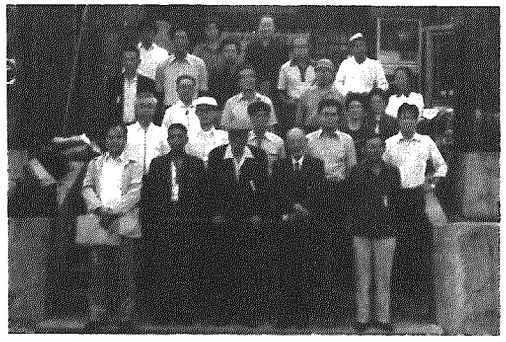
この程、間瀬小学校では、全校児童を対象にして、安全な自転車の乗り方教室を行いました。

駐在さんや、交通指導員から正しい乗り方の説明を聞いたあと、グランドに設定されたコースを乗ってみました。

「後方の確認をして……」、「せまい道路からでるときはかならず一時停止をして左右を確かめて……」とそのつど指導を受けながら、子どもたちは汗だくになってがんばり、――今日ならったことをしっかり守ってくださいね――と小林指導員のことばに「ハイッ」と元気に約束していました。

真剣に練習する児童たち▼

新潟県民俗学会が間瀬地域の民俗調査



▲調査団のみなさん

しだいに失われ、忘れさられようとしている間瀬の民俗文化をいまのうちに記録にとどめておこうと、新潟県民俗学会では、去る九月二十日～二十一日の二日間、共同採訪作業を行いました。

調査は、あらかじめ作成したリスト表によって、古老を訪ね、衣食住、人の一生、信仰など十一項目について聞きとる形で進められました。

会員でもあり、村の文化財委員長でもある斎藤嘉吉さんは――いろいろ貴重な話しを聞くことができました――と話し、心よく協力してくれたみなさんに感謝していました。

この成果は会の機関紙、高志路（こしじ）で発表されます。